

第2回 新潟市域再生可能エネルギーゾーニング専門委員会 議事要旨

日 時： 令和3年11月24日（水） 午前10時～11時45分

場 所： 新潟市役所本庁舎第3委員会室（ウェブ併用）

出席者： 新潟市域再生可能エネルギーゾーニング専門委員

五十嵐委員長、豊田副委員長、黒野委員、豊岡委員、千葉委員、中平委員、
増田委員

オブザーバー

環境省関東地方環境事務所脱炭素チーム 一井総括環境保全企画官、

環境省関東地方環境事務所脱炭素チーム/地域循環共生圏構想推進室 丸山上席

地域循環共生圏構想推進官、新潟県環境企画課地球環境対策室 土屋室長

新潟市 環境政策課清水課長、環境対策課小泉課長ほか4名

委託事業者 エヌシーイー株式会社 6名

傍聴者 2名

【次第】

次第1 開会

次第2 議事

(1) ゾーニングについて

- ① ゾーニングマップ（案）
- ② 合意形成・理解促進（計画修正案）

(2) その他の取組について

- ① 発電ポテンシャルの活用（案）
- ② フォトモンタージュの作成（案）
- ② 経済波及効果の分析（案）
- ③ 健康被害リスクの算定（案）

次第3 その他

次第4 閉会

【配布資料】

- ・ 次第
- ・ 委員会名簿
- ・ 資料1 ゾーニングについて
- ・ 資料2 その他の取組について

第2回 新潟市域再生可能エネルギーゾーニング専門委員会 <議事録：要旨>

| 発言者等 | 発言内容 |
|----------------------------------|---|
| 進行 | <p>■ 1. 開会</p> <p>■ 2. 議事 (1) ゾーニングについて</p> |
| 五十嵐委員長 | <p>第1回で示された実施概要に基づいて作成されたゾーニングマップ案、並びにサブマップ案、そしてワークショップの計画修正について、委託業者のエヌシーイー株式会社よりご説明お願いいたします。</p> |
| NCE(株)中川 NCE(株)目黒 NCE(株)鈴木 | <p>〈資料1について説明〉</p> <p>委員の皆様にご助言いただきたい点は、太陽光発電ならびに陸上風力発電のゾーニングに関するエリア設定のレイヤーや該当範囲の妥当性について、また合意形成の目標到達点やワーキングの進め方についてです。</p> <p>よろしくをお願いいたします。</p> |
| 五十嵐委員長 | <p>それではご助言をいただきたいと思えます。</p> <p>説明のあった特にご助言いただきたい点について、またそのほかのご助言いただける点、あるいは疑問の点もありましたら専門的な立場からご発言いただきたいと思えます。</p> |
| 豊岡委員 | <p>太陽光発電について、高圧、低圧を分ける方が良い。大規模だけを対象とするのではなく、小規模も見ろべき。低圧の整備ができなくなる。文化施設等にも導入意欲があるケースがみられる。むしろ促進すべき施設とみるべき。</p> <p>風力発電について、新潟市の目指すべき姿、どのように活かしていくか、安定雇用を生む場、経済につなげる場など、ビジョンがないと判断できない。新潟未来ビジョンが重要。</p> |
| NCE(株)中川 | <p>太陽光発電について、低圧、高圧に分けて検討します。</p> |
| 新潟市 清水課長 | <p>風力発電について、未来ビジョンとの関連を含めて、新潟市としてどのような形を目指していくのかを前提に検討していきたいと思えます。</p> |
| 五十嵐委員長 | <p>長期的なビジョンは極めて重要なこと。</p> |
| 増田委員 | <p>地域の経済、安全保障等、ビジョンを持つべき。能代市では防風林に市と市民が出資して17基の風発が立地している。おらが電気の認識がある。事例としてご検討いただければありがたい。</p> |

| | |
|-------------|--|
| 増田委員 | <p>また、何を守り、配慮し、活用していくのか、明確にすべき。 それから生物多様性について、具体的に何を対象としているのか明示してほしい。</p> |
| NCE(株)中川 | <p>防風林の事例は、検討資料といたします。 生物多様性については、後日、資料を提供します。</p> |
| 千葉委員 | <p>鳥類がかなり重要視されている点がありますが、鳥類以外の多様な生物、里潟、海岸林、河畔林をレイヤーとして活用すべき。生物は多様性の中でまとまった捉え方をすべき。</p> |
| NCE(株)中川 | <p>潟、保安林、河川の流域等につきまして、サブマップの形になるかもしれませんが、整理します。</p> |
| 五十嵐委員 | <p>生物多様性は温暖化に匹敵する大きな課題です。その点もしっかり踏まえて事業が組み立てられることを希望します。</p> |
| 中平委員 | <p>市の方針（公益性の確保など）、市がどのように進めていくのか確認したい。</p> |
| 新潟市 小林室長 | <p>市の方針はマップの公表に合わせて表明したいと考えています。</p> |
| 中平委員 | <p>太陽光発電の反射光への配慮について方策は見つかっていますか。</p> |
| NCE(株)中川 | <p>まだマップとしてどのように表現するか検討中です。その点も資料2でご助言いただきたいと思っています。</p> |
| 中平委員 | <p>促進エリアとの太陽光発電と陸上風力発電との重複箇所の取扱いについて、何か準備されていますか。</p> |
| NCE(株)中川 | <p>現時点では別々で作成しています。今後検討します。</p> |
| 五十嵐委員 | <p>重ねてみないと分からないこともありますね。</p> |
| 黒野委員 | <p>ゾーニングマップ案の作成における対象範囲の決め方、騒音について100m、300mなどは根拠が不明、建築基準法などの法規制に基づいた方が良いでしょう。</p> |

| | |
|----------|---|
| 黒野委員 | <p>文化財等は点ではなく面（包蔵地と言う概念）で捉える必要がある。 景観影響に対する風車の高さについてはメルヘンスの理論（4倍）等を参考とするように。</p> <p>景観は作るものではなくあるもの。ワークショップ等の進め方において順序を間違えないように。今まで大事にされてきたものを先に聞かないと結果的に市民の支持が得られない懸念があります。</p> |
| NCE(株)中川 | <p>騒音について、各距離を明確にするのではなく、基準や根拠を整理する方向で見直します。ただ、マップとしての表現では注釈を入れながら整理したいと考えます。</p> <p>文化財等について、点ではなく面で考えるよう留意します。</p> |
| NCE(株)鈴木 | <p>合意形成の進め方について、今回のワークショップの目的を考慮して意見を聞く順番を設定しており、守りたいものを後回しにしているものではありません。</p> |
| 増田委員 | <p>どういう点に目線をおくかが非常に大事。</p> <p>市民に、新潟市が将来どうなっていくのか、あるいはどうありたいのか、を打ち出していきたい、国や県よりも一歩先に行った地域の経営を目指して頂ければ大変ありがたい。</p> |
| 五十嵐委員 | <p>どれだけCO₂排出を下げることが必要かということを目標として掲げ、そこから計画を立てていくという必要性もあると思います。</p> <p>もちろん個々の市民の生活も重要ですが、それらのバランスを取る中でどう調整していくのかという点が問われるような気がします。</p> |
| 豊田委員 | <p>合意形成は意見収集の場とは違う。皆で何を作っているのかが重要。ワークショップの成果がマップにどのように活かされるのか？ 配慮事項を提案書としてまとめるといった具体的な成果があると良い。</p> |
| NCE(株)鈴木 | <p>ワークショップの成果が、ゾーニングマップに具体的に、直接的に結びつくかどうかは、正直まだ分からないと思っております。</p> <p>ただ地域の方から、どういうものを守っていききたいのかをお聴きし、それがマップに結びつかなくても、配慮事項としてきちんと反映させるべきものだと思います。</p> |
| 豊田委員 | <p>パブコメの積極的活用に向けた取り組みをワークショップで検討しても良いと思います。持続可能性の観点から新潟市の方針が示されると良い。</p> |

| | |
|--|--|
| 新潟市 清水課長 | 関連団体への案内を含めて、やり方、広報の仕方を検討します。 |
| 五十嵐委員長 NCE(株)中川 NCE(株)高倉 NCE(株)目黒 五十嵐委員長 増田委員 豊岡委員 中平委員 | <p>■ 2. 議事 (2) その他の取り組みについて</p> <p>続いて次第の 2 (2) その他の取り組みについて議論を移したいと思いません。</p> <p>委託業者のエヌシーイー株式会社より説明をお願いいたします。</p> <p>《資料 2 について説明》</p> <p>論点として、適合度の考え方について、陸上風力における主要な眺望点の留意点について、それから太陽光発電の健康被害の配慮すべき事項等について、ご助言いただきたいと思います。</p> <p>それでは、①発電ポテンシャルの活用案の内容について、②フォトモンタージュの作成案の内容について、③経済波及効果の分析案の内容について、④健康被害リスクの算定の内容についてご助言をいただきたいと思います。</p> <p>各項目に記載の助言をいただきたい点を中心にお願います。</p> <p>またその他のご助言等もありましたら専門的な立場からご発言いただきたいと思います。</p> <p>太陽光ポテンシャルマップについて、商業系施設についても同様に表示してほしい。</p> <p>太陽光発電、風力発電は投資対象としても有益、地元資本を優先するなど外部に流出しないような意識が必要。</p> <p>能代の風の松原では、2 億円を市民ファンドで実施し、即日募集満了。資金調達の方法もアレンジ可能なので、検討していただきたい。</p> <p>鳴門市での実体験として、商工会や金融機関にも入ってもらう方が良かった。環境系の人だけだと保守的になりやすい。経済系の部署も入ってもらうべき。公共サービスに買電利益を充当できる（ドイツの事例などが参考になる）。</p> <p>また、再評価の仕組みも必要、その余地を残しておくべき（保全エリアはいつまでも保全対象ではない）。</p> <p>地域での理解が進めば多様な事業主体が生まれる。</p> <p>反射光の健康被害リスクについて、環境省等から苦情の情報がある。細かくシミュレーションを行うこととなる。</p> |

| | |
|-------------|--|
| 中平委員 | 健康被害への観点では飲料水の濁りも含まれると思います。 |
| 黒野委員 | <p>陸上風力について「眺望の良い峠」とありますが、新潟市にあまり峠はないので「眺望の良い場所」とした方が分かりやすいかと思います。また、レクリエーション地の他に、公園とか憩いの場なども入れた方が良いと思います。文化財関係では名勝だけではなく、史跡・名勝の方が良いと思います。</p> <p>また、名勝の重文的景観は、眺望点だけではなくて、眺望対象にもなり、両方だと思っています。その背景に発電施設ができるときのイメージを検討することも必要。</p> <p>洋上風力のフォトモンタージュでは、市民が一番大事に思っている風景で検討した方が理解を得やすい。使用する写真の時期や時間などに配慮した方が良い。</p> |
| 五十嵐委員長 | 夕日コンサートを行うぐらいですから、夕日の時にどうなるのかは、結構大きなことかと私も感じました。 |
| 五十嵐委員長 | <p>ご助言は出尽くしたと思います。</p> <p>私もこの事業自体の重要な点として、市民が我が事化するような仕組み、仕掛けがどうしても必要かと思っています。どう我が事化してもらおうかがすごく大切だと思っています。</p> <p>あと、この事業自体のアウトプットとアウトカムもある程度明確にしておくことが今後必要かと思っています。</p> <p>また、波及効果は県外あるいは国外に出ていくケースもあります。その点、十分に検討していただければと思います。</p> |
| 五十嵐委員長 | 委員の皆様、ご意見、ご助言等ありがとうございます。 |
| 新潟市 小林室長 | <p>■ 3. その他</p> <p>■ 4. 閉会</p> |